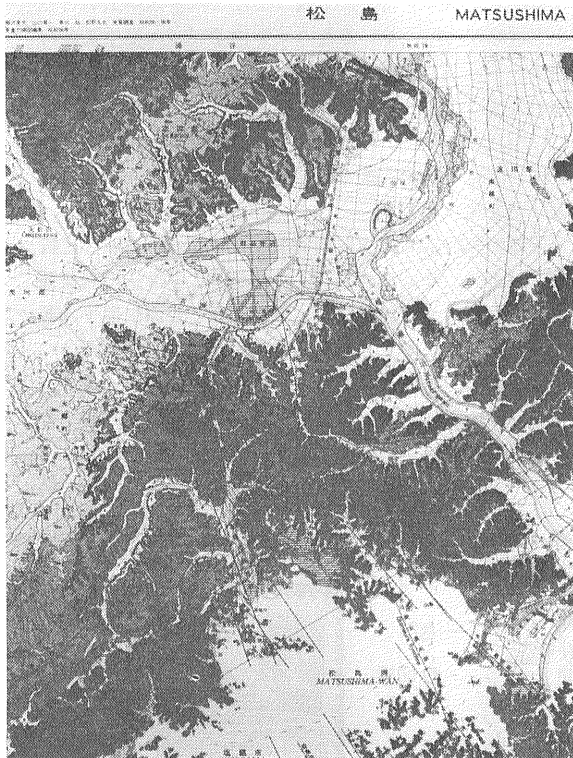


5万分の1地質図幅の新刊

松 島 MATSUSHIMA

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告



著 者 石井 武政・柳沢 幸夫・山口 昇一
寒川 旭・松野 久也

発 行 工業技術院 地質調査所

取 扱 先 東京地学協会

- 松島図幅地域は 宮城県太平洋沿岸地域のほぼ中央部に位置し 松島湾及び石巻湾の海域を含んでいる。石巻湾に臨む海岸が直線的な砂浜海岸を形成しているのと対照的に 松島湾一帯は複雑多岐に入りくんだ地形を呈している。松島湾内には 松を頂く大小様々な形の 200 余りの島が点在し 日本三景のひとつ“松島”の美しい景観を作り出している。
- 本図幅地域には 三疊系^{うぶ}の利府層及び白亜紀に貫入したと考えられる利府花崗岩類を基盤として 新第三系・第四系が発達している。新第三系のうち中新統は 岩相及び地質構造などの差異により 下半部の松島湾層群と上半部の志田層群に大別された。両層群は不整合関係にあり 従来整合一連とされた地層間にも大きな時間間隙のあることが明らかとなった。図幅地域北東部に分布する追戸層は岩相上松島湾層群の下部に対比されたが、より上位の層準に位置づけられる可能性が示されている。鮮新統は合わせて5つの累層に区分され 仙台層群との対比が論じられている。
- 第四系の表現は 空中写真の判読 旧版の地形図類と現在のそれとの比較 ポーリングデータの解析などに基づいて 微地形の単位区分に従っている。また人工的な土地改変として 干拓地の分布が示された。
- 本図幅地域の調査研究が 地震予知に関わる特定観

測地域の地質図幅作成計画の一環として行われたこともあって 研究報告書中には活構造の章が設けられている。この中で図幅地域東部の旭山撓曲沿いに活構造の可能性が示され またいわゆる長町一利府線の北東方への延長の問題について触れている。

- 松島図幅では 新第三系の層序と構造を詳しく述べるとともに 珪藻化石層序学の成果を取り入れて時代論を行い 特に仙台地域との地層対比を扱っている 今後この報告は 地質時代を検討するなどの各種の研究に 有益な資料となるであろう。

地質ニュース	第334号	6月号
	定価 ¥540	千実費
昭和57年6月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久	雄
発行所	株式会社 実業公報社	
印刷	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	出版事業部